



Top Message



株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2021年9月30日をもちまして、第74期(2021年4月1日から2021年9月30日まで)の中間期を終了いたしましたので、ここに当社グループの事業の概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長

英 裕治

Hanabusa Yuji

当中間期の概況

当中間期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって持ち直しの動きが続くことが期待されます。ただし、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクに十分注意する必要があります。また、感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

このような状況の中で当社グループは、音響機器事業のうちハイエンドオーディオ機器事業は、次世代アンプの要素技術の確立と新規カテゴリーへの挑戦でラインナップを拡充し、海外市場を伸ばす事で堅実な成長路線を引き続き目指します。プレミアムオーディオ機器事業は、中高級機のReferenceシリーズの更なる充実と特色のあるアナログ製品で、すべてのカテゴリーにおいて常に競合に比べ個性的な価値を持つ事を目指し、収益向上とブランド・イメージの向上に努めます。音楽制作・業務用オーディオ機器事業では、UX向上を目指したデジタルマーケティングの強化およびクリエイター市場に向けた

新製品の投入によりBtoC市場での成長を目指します。同事業のBtoB市場においては、アフターコロナを見据えた戦略的新製品の導入と海外販売体制の一層の強化を進めます。情報機器事業においては、IoT、AI、5G、4K、Streaming等の先端技術を取り込んだ製品開発とソリューションの提案で、新しい市場の開拓を進めてまいります。

当中間期におきましては新型コロナウイルス感染症が収束方向に向かい、加えて新製品が好評を博したことで、売上収益は増加し前年同期の親会社の所有者に帰属する四半期損失は改善し黒字化しました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上収益は72億7千4百万円(前年同期比9.6%増)、営業利益は1億7千5百万円(前年同期営業損失8千8百万円)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は3千6百万円(前年同期親会社の所有者に帰属する四半期損失1億7百万円)となりました。

通期の業績見通しについて

当社のBtoC事業は第3四半期、BtoB事業は第4四半期にそれぞれの需要期を迎えることから、当社グループの業績は、売上、利益ともに下半期に偏重する傾向があります。

2022年3月期の連結売上収益は150億円、営業利益5億5千万円、親会社の所有者に帰属する当期利益は3億3千万円を予想しております。

全グループ社員一丸となって通期の業績見通しの達成に向け邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月

連結業績ハイライト (国際会計基準)

	第72期 2020年3月期	第73期 2021年3月期	第73期 (中間) 2020年9月期	第74期 (当中間) 2021年9月期
売上収益 (百万円)	14,745	14,589	6,636	7,274
営業利益 (百万円)	286	508	△88	175
税引前当期利益 (百万円)	69	342	△115	52
親会社の所有者に帰属する当期利益 (百万円)	27	301	△107	36
基本的1株当たり当期利益 (円)	0.94	10.45	△3.72	1.25
資産合計 (百万円)	9,540	9,651	9,630	9,766
資本合計 (百万円)	1,417	1,844	1,214	1,926

音響機器事業

68.6%

売上収益 4,992百万円

(前年同期比12.1%増)

セグメント営業利益 544百万円

(前年同期比40.6%増)

ハイエンドオーディオ機器（ESOTERICブランド）は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う度重なる緊急事態宣言の影響で国内市場におきましては専門店での販売活動が限定的となり売上げが低調に推移いたしました。海外市場におきましては中国を中心としたアジア市場や、北米、欧州の需要が引き続き好調に推移し、更に新たに上市したネットワーク関連の新製品が大いに貢献して全体では大幅な増収となりました。

プレミアムオーディオ機器（TEACブランド）も、国内市場におきましては度重なる緊急事態宣言に加え、半導体の不足による製品供給減の影響を受け低調に推移しましたが、海外市場では欧州市場を中心にターンテーブルカテゴリーの需要が引き続き好調に推移し、更に新たに新製品を上市したReferenceシリーズも好調を維持したことで、全体としては増収となりました。

音楽制作・業務用オーディオ機器（TASCAMブランド）は、BtoC事業において、新型コロナウイルス感染症拡大から始まった新生活様式の浸透により、音楽制作やインターネット配信、動画制作などを楽しむユーザーが拡大し、新製品含めクリエイター向け製品の販売が好調に推移しました。しかしながら、港湾混雑による供給遅延の解消が進まず、北米、欧州の高い需要を満たせない状況が続いております。BtoB事業においては、ワクチンの接種率が高まる海外主要国を中心に設備工事が徐々に再開し、引き合いが増加した主力業務機器の販売が堅調に推移しました。その結果、音楽制作・業務用オーディオ機器全体としては増収となりました。

- ハイエンドオーディオ機器
- プレミアムオーディオ機器
- 音楽制作・業務用オーディオ機器

オリジナルブランド

ESOTERIC

TEAC

TASCAM

情報機器事業

26.3%

売上収益 1,916百万円

(前年同期比2.1%増)

セグメント営業利益 54百万円

(前年同期セグメント営業損失11百万円)

航空機搭載記録再生機器は、海外顧客向けのパーツ関連で、製造中止になる部品を中心に受注がまとまり好調に推移、前年同期比で増収となりました。計測機器関連は、データレコーダーはターゲット市場である重工業、鉄道、自動車で新型コロナウイルス感染症の影響により、大型の計測プロジェクトが無く減収となりました。

センサー関連においては半導体製造装置市場向けの出荷は好調を維持しているものの、大手顧客への販売が第3四半期以降となったことにより減収、計測機器全体としては前年同期比で減収となりました。

医用画像記録再生機器は、国内消化器内視鏡向けレコーダーの販売は低調に推移したものの、手術画像用レコーダーが国内・海外共に好調に推移、特に欧州・米国は医療機器メーカー向けの出荷が伸びました。医用画像記録再生機器全体では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも前年同期比で増収となりました。

ソリューションビジネスは、受託開発案件の受注が低調に推移し減収となりました。一部海外販売子会社で継続している産業用光ディスクドライブは、需要減の状況下で堅調に推移しました。

- 航空機搭載用記録再生機器
- 医用画像記録再生機器
- 計測機器 トランスデューサー
データレコーダー オリジナルブランド
- ソリューションビジネス
- 産業用光ドライブ

TEAC

売上収益
7,274百万円

前年同期比 9.6% 増

その他事業 5.1%

売上収益 366百万円

(前年同期比19.2%増)

セグメント営業利益 49百万円

(前年同期セグメント営業利益21百万円)

- EMS事業

要約連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	当中間期	前期
	2021年 9月30日現在	2021年 3月31日現在
■ 資産		
流動資産	7,723	7,475
現金及び現金同等物	955	1,869
営業債権及び その他の債権	2,750	2,844
棚卸資産	3,651	2,454
その他の流動資産	366	307
非流動資産	2,043	2,177
有形固定資産	1,669	1,810
無形資産	130	125
その他の投資	0	3
繰延税金資産	26	22
その他の金融資産	154	148
その他の非流動資産	64	68
資産合計	9,766	9,651

(単位:百万円)

	当中間期	前期
	2021年 9月30日現在	2021年 3月31日現在
■ 負債		
流動負債	5,845	5,872
社債及び借入金等	2,588	2,666
リース負債	368	362
営業債務及びその他の債務	1,559	1,447
引当金	606	623
未払法人所得税	13	34
その他の流動負債	711	741
非流動負債	1,995	1,935
社債及び借入金等	697	341
リース負債	167	337
長期未払金	1,044	1,149
退職給付に係る負債	16	15
引当金	42	42
繰延税金負債	13	13
その他の非流動負債	16	38
負債合計	7,839	7,807
■ 資本		
親会社の所有者に帰属する持分	1,926	1,844
資本金	3,500	3,500
資本剰余金	16	16
自己株式	△121	△121
利益剰余金	1,622	1,586
利益剰余金 (IFRS移行時の累積換算差額)	△3,430	△3,430
その他の資本の構成要素	341	295
資本合計	1,926	1,844
負債及び資本合計	9,766	9,651

要約連結損益計算書

(単位:百万円)

	当中間期	前中間期
	2021年4月1日~ 2021年9月30日	2020年4月1日~ 2020年9月30日
売上収益	7,274	6,636
売上原価	4,138	3,828
売上総利益	3,135	2,808
販売費及び一般管理費	2,981	2,930
その他の損益	20	33
営業利益(△損失)	175	△88
金融収益	1	64
金融費用	124	91
税引前四半期利益(△損失)	52	△115
法人所得税費用	16	1
四半期利益(△損失)	36	△116
四半期利益の帰属先		
親会社の所有者	36	△107
非支配持分	—	△9

要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当中間期	前中間期
	2021年4月1日~ 2021年9月30日	2020年4月1日~ 2020年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	△925	384
投資活動による キャッシュ・フロー	△66	△83
財務活動による キャッシュ・フロー	80	248
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△3	△3
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△914	546
現金及び現金同等物 期首残高	1,869	1,479
現金及び現金同等物 期末残高	955	2,025

要約連結持分変動計算書(2021年4月1日~2021年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本 合計	
	資本金	資本 剰余金	自己 株式	利益 剰余金	利益 剰余金 (IFRS移行時 の累積換算 差額)	その他の 資本の 構成要素			合計
当期首残高	3,500	16	△121	1,586	△3,430	295	1,844	—	1,844
四半期包括利益									
四半期利益(△損失)	—	—	—	36	—	—	36	—	36
その他の包括利益	—	—	—	—	—	46	46	—	46
四半期包括利益合計	—	—	—	36	—	46	82	—	82
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	△0	—	△0
当四半期末残高	3,500	16	△121	1,622	△3,430	341	1,926	—	1,926

※連結財務諸表の記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

Point 1 連結財政状態計算書

< 資産合計 >

現金及び現金同等物の減少914百万円、棚卸資産の増加1,197百万円、有形固定資産の減少141百万円となり、前期末と比較し、114百万円の増加となりました。

< 負債合計 >

社債及び借入金の増加279百万円、リース負債の減少164百万円、営業債務及びその他の債務の増加112百万円、長期未払金の減少105百万円となり、前期末と比較し32百万円の増加となりました。

Point 2 連結損益計算書

< 売上収益、親会社の所有者に
帰属する四半期利益 >

新型コロナウイルス感染症が収束方向に向かい、加えて新製品が好評を博したことで、売上収益は増加し前年同期の親会社の所有者に帰属する四半期損失は改善し黒字化しました。

Point 3 連結キャッシュ・フロー計算書

< 営業活動によるキャッシュ・フロー >

主な内訳は、プラス要因として、営業債権及びその他の債権の減少額91百万円、営業債務及びその他の債務の増加額121百万円、マイナス要因としては、棚卸資産の増加額1,174百万円、長期未払金の減少額105百万円。

< 財務活動によるキャッシュ・フロー >

主な内訳は、プラス要因として、社債の発行による収入471百万円、マイナス要因としては、短期借入金の減少額149百万円、長期借入金の返済による支出56百万円、リース負債の返済による支出186百万円。



USB DAC/ネットワークプレーヤー UD-701N

TEAC

2021年11月より販売開始しました、ReferenceシリーズのUSB DAC/ネットワークプレーヤー『UD-701N』が、株式会社音元出版様主催で実施されました「オーディオ銘機賞 2022」において、銀賞を受賞しました。

『UD-701N』は、USB DAC機能を核に、ネットワークプレーヤー、アナログプリアンプ、ヘッドホンアンプなど、様々な機能を高次元で融合。新開発のTEAC $\Delta\Sigma$ (デルタシグマ) ディスクリットDACを搭載し新たな高みに到達したTEACのフラッグシップDACです。

USB DAC、ネットワークプレーヤーとしてはDSD22.5MHz、PCM 384kHz/32bitに対応。すべてのデジタル信号は、新開発のTEAC $\Delta\Sigma$ ディスクリットDACにより、高音質でアナログ信号へと変換されます。

PC/Macを中心としたシステムから、NASを使ったオーディオサーバーシステムや、ストリーミング再生まで、あらゆるデジタル再生で活躍するだけでなく、アナログ/デジタル入力を装備したことでプリアンプとしてシステムの中核を担うことも可能です。パワーアンプと組み合わせたスピーカーリスニングにとどまらず4pin XLR端子によるヘッドホンのバランス出力にも対応し、UD-701Nは新しい時代の新しいリスニングスタイルに柔軟に対応可能なオールラウンダーです。



Network DAC / プリ N-05XD

ESOTERIC

最小のシステム構成で、最高の音質をお届けすることを目的に設計されたブランド初のネットワークDAC / プリ、N-05XDを2021年8月より販売開始いたしました。

N-05XDはGrandioso D1Xで極めた「Master Sound Discrete DAC」のフィロソフィーを継承した完全自社設計のディスクリットDACに、N-01XD譲りのネットワーク回路、豊富なデジタルおよびアナログ入力、高品位なアッテネーター回路、ESOTERIC DAC製品で初めてとなるバランス・ヘッドホン出力を組み合わせたネットワークDACプリです。

2021年11月に株式会社音元出版様主催で実施/発表されました「オーディオ銘機賞 2022」におきましては、N-05XDが特別大賞を受賞しました。

また、ネットワークオーディオが普及している海外市場では、多くのお客様よりご好評いただいております。



ロードセルシグナルコンディショナー TD-SC1

TEAC

『TD-SC1』は、ロードセルの微小な電気信号を、制御装置の仕様に合わせた出力に変換するシグナルコンディショナーです。

近年、生産工場では各種生産データの一元管理による生産性の向上を目的としたIoT化の流れが急加速しています。

本製品では、それらのニーズに対応したフィールドバス/フィールドネットワークの中でもRS-485モデルを先行発売。

また、国内でシェアの高いCC-Linkモデル、ワールドワイドでトップシェアのEtherNet/IP™モデルを順次発売していきます。

本体のデザインは、機能を必要最低限に抑えた『薄型コンパクト設計』とし、DINレール固定方式により制御ユニットの省スペース化に対応し、お客様の装置の小型化に貢献します。

シンプルな設計コンセプトでありながら、性能面ではティアックのシグナルコンディショナーとしては最速の20,000回/秒の高速サンプリングや当社が推進するTEDSによるプラグ&プレイ機能の実装など、さまざまな機能を標準で搭載しながらも低価格を実現しました。

これからも、市場のニーズに応えることが出来る製品を提供していきます。



ポッドキャスト制作のワンストップソリューション 『Mixcast 4』新発売

近年、米国を中心にポッドキャスト市場が急成長しており、配信事業者が続々市場参入するなど、世界中でサービスが拡大しています。ポッドキャストはテレビや動画配信などとは異なり、他の作業をしながら情報収集する「ながら聴き」ができるのが最大の特徴で、スマートスピーカーやワイヤレスイヤホンなどのデバイスの普及とともに利用者数が急増。ポッドキャストは今後も成長が期待されているメディアです。

メディアの成長にともないポッドキャスト制作を始めるクリエイターが急増していますが、音声の収録から編集に至るまで一定の専門知識が求められるため、機材の操作方法などを習得しなければならないというハードルが生じます。

『Mixcast 4』はPodcast、ライブ配信、イベント収録といった複数の利用シーンで音源の収録からミックスまでをワンストップで簡単に行えるワークステーションです。これまで音声ミキサーやレコーダーといった機器に触れたことがない方にも難しい操作なくクオリティの高いポッドキャスト制作の場を提供します。



TASCAM



キヤノン、富士フィルム、ニコン、各社との協業による プロ品質での動画音声収録を実現するミラーレスカメラ対応 XLRマイクアダプター『CA-XLR2d』を開発

『CA-XLR2d』は、キヤノン株式会社、富士フィルム株式会社、株式会社ニコン、それぞれとのコラボレーションの実現により、業界をリードするカメラメーカー各社のノウハウと音響機器の専門ブランドであるTASCAMによって培われた当社の音声収録技術を結集した共同企画開発製品です。

成長を続ける動画配信市場において、音声の品質は視聴者のエンゲージメントを左右する大きな要因のひとつとして広く認知されており、映像の高画質化と共に音声の高音質化を追求する動画クリエイターがプロ・アマ問わず増加しています。

『CA-XLR2d』は、手軽に音質の劣化なくプロ用マイクを利用でき、音声はカメラの動画ファイルに直接記録されるので従来に比べ編集作業の効率大幅にアップを実現します。プロはもちろん、動画コンテンツの音声品質差別化を目指すアマチュアまで、幅広い層の動画クリエイターのニーズに応える一台です。



TASCAM

会社の概要

商号 ティアック株式会社
(TEAC CORPORATION)
本社 〒206-8530
東京都多摩市落合一丁目47番地
設立 1953年8月26日
資本金 35億円
事業年度 4月1日～翌年3月31日
代表者 代表取締役社長 英 裕治
従業員数 単体 241名 連結 577名

● 国内拠点

ティアック株式会社
本社 [東京都]
EMCセンター [埼玉県]
大阪営業所 [大阪府]
名古屋営業所 [愛知県]
エソテリック株式会社 [東京都]
ティアック マニファクチャリング ソリューションズ株式会社 [東京都]
ティアックカスタマーソリューションズ株式会社 [埼玉県]
ティアックシステムソリューションズ株式会社 [東京都]

● 海外拠点

TEAC AMERICA, INC. [米国]
TEAC EUROPE GmbH [ドイツ]
TEAC UK LTD. [英国]
TEAC SALES & TRADING (ShenZhen) CO., LTD. [中国]
TEAC AUDIO (CHINA) CO., LTD. [香港]
DONGGUAN TEAC ELECTRONICS CO., LTD. [中国]



■ 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。 ■ 製品の色は、撮影や印刷の関係で実際の色と異なって見えることがあります。 ■ 記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

役員

代表取締役社長 英 裕 治
取締役 野 村 佳 秀
取締役(監査等委員) 吉 村 邦 彦
取締役(監査等委員) 原 琢 己
取締役(監査等委員) 坂 口 洋 二

株式の状況

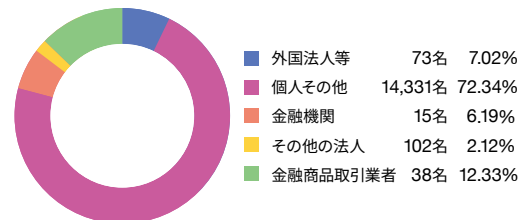
発行可能株式総数 … 40,000,000株
発行済株式の総数 … 28,807,877株
(自己株を除く)
株主数 ……………… 14,559名

大株主 (上位10名)

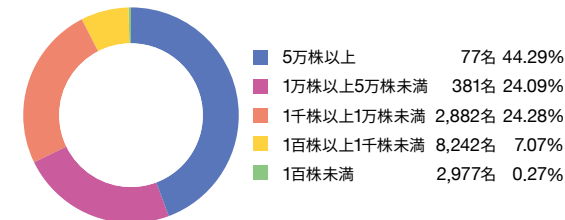
株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,149	3.99
楽天証券株式会社	931	3.23
山下 良久	740	2.57
株式会社SBI証券	729	2.53
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	599	2.08
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	588	2.04
木村 昌二	400	1.39
オンキヨーホームエンターテイメント株式会社	289	1.00
小林 克圭	244	0.85
亀井 佐和子	223	0.77

※ 持株数は表示単位未満を、出資比率は小数点第3位を四捨五入して表示しております。
※ 持株比率は、自己株式(123,836株)を控除して計算しております。

株式所有者別状況



株式所有数別状況



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日 3月31日
単元株式数 100株
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日網町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
公告の方法 電子公告により行う。
公告掲載URL <https://www.teac.co.jp/about/jp/koukoku>
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることのできない場合は、日本経済新聞に公告します。)

【株式事務に関するご案内】

1. 各種お手続きのお問合せ窓口について
株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きについて
特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式(100株に満たない株式)の買取請求のご案内

単元未満株式(100株に満たない株式)については、「単元未満株式の買取請求」により、当社に売却をしていただくことができます。当社は、単元未満株式の買取請求に係る当社手数料を無料(注)としておりますので、本制度のご利用をご検討くださいますようお願い申し上げます。
(注) 無料となる手数料は当社に係る手数料です。証券会社等において取次手数料等がかかる場合もあります。

- 証券会社等の口座でご所有の株主様
お取引のある証券会社等にお問合せください。
- 特別口座でご所有の株主様
(証券会社等にお取引口座がない株主様)
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部(TEL 0120-232-711<通話料無料>)にお問合せください。



ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地
TEL 042-356-9100 (代表)
ホームページアドレス <https://www.teac.co.jp/jp/>